

作型

種は光が当たらないと発芽しないので、土は薄くかぶせる。酸性土壌と乾燥に弱い。

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 品 種 名 |
|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|------------------------------|
| 秋 植 え | | | | | | | | ○ | △ | ■ | | | エムラップ231、極早シスコ、 オンタリオ、シスコ |

○：種まき △：植え付け ■：収穫

畑の準備・定植

| | |
|-------------------|-------|
| 土づくり a 当たり | |
| 堆肥 | 400kg |
| セルカ(有機石灰) | 15kg |
| 植え付け1ヶ月前に土と良く混合 | |
| 土づくり a 当たり | |
| 醗酵鶏糞 | 40kg |
| 野菜専用肥料 | 5kg |
| 畝立時施用 | |

- 畝幅120cm
- 株間30cm(2条、条間30cm)
- 冬どりはフィルムマルチ(黒135cm)を行う。

灌水

乾燥に弱いので表面が乾かないように灌水する。(生育を見て、液肥(200倍程度)の灌水も良い)

追肥

結球開始期に野菜専用肥料4~5kg/aを施用する。

収穫

玉を軽く押さえ固く締まりかけてから収穫する。



防除

| 病害虫名 | 耕種防除 | 薬剤防除 |
|-------|---------------------------------------|---------------------------------|
| 菌核病 | マルチ栽培する。発病株を早めに除去する。排水を良くする。 | ベンレート水和剤(2,000~3,000倍) 14日前まで4回 |
| 軟腐病 | 茎葉に傷をつけない。排水を良くする。防寒、防湿のためバスライトで被覆する。 | Zボルドー(500倍) |
| ヨトウムシ | 幼虫が分散するまでに取り除く。 | エルサン乳剤(1,000倍) 21日前まで2回 |
| アブラムシ | | トレポソ乳剤(1,000倍) 14日前まで3回 |

裏面はしゅんぎくを掲載しています。

農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。

作型

冬季はビニールトンネルを利用して品質の良いものを収穫する。古い種は発芽率が悪いので、新しい種を使い、多めにまいて間引きする。

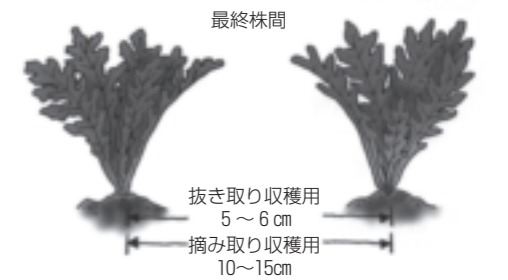
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 品 種 名 |
|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|
| 秋 ま き | | | | | | | | | ○ | ○ | ■ | ■ | 株張り型(抜き取り収穫用) 摘み取り型(摘み取り収穫用) 中葉春菊、おびつ春菊 |

○：種まき ■：収穫

畑の準備・定植

| | |
|-------------------|-------|
| 土づくり a 当たり | |
| 堆肥 | 300kg |
| セルカ(有機石灰) | 15kg |
| 植え付け1ヶ月前に土と良く混合 | |
| 土づくり a 当たり | |
| 油粕 | 10kg |
| 畝立時施用 | |

- 畝幅100~150cm
- 株張り型：5~9条
- 摘み取り型：4~6条
- 薄く覆土(1cm程度)後、鎮圧する。
- 発芽がそろうまでに時間がかかるので、乾燥しないよう灌水するか、切りわらをかける。

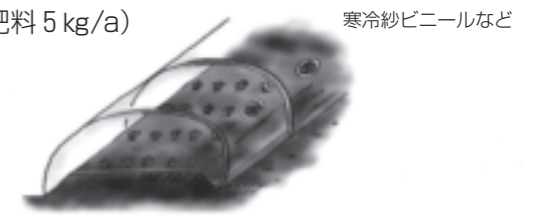


間引き・追肥

- 本葉1~2枚時：株間3~4cmに間引く。
- 本葉7~8枚時：株間5~6cm間隔に間引き(摘み取り種は10~15cm)、追肥を行う。
- 摘み取り種の第1回収穫後、追肥する。(生育が順調なら追肥の必要がないが、葉色が黄色い時は追肥する。)(追肥の量：それぞれ野菜専用肥料5kg/a)

防寒対策

冬期間の栽培は11月下旬を目安にトンネル被覆する。(日中高温になり過ぎないように換気に注意する。)



防除

| 病害虫名 | 耕種防除 | 薬剤防除 |
|------|-------------------------------|-----------------------------|
| 炭そ病 | 排水を良くする。雨よけ栽培をする。 | アミスター20フロアブル(2,000倍) 前日まで2回 |
| べと病 | 排水を良くする。厚まきを避ける。肥料切れしないようにする。 | Zボルドー(500倍) |

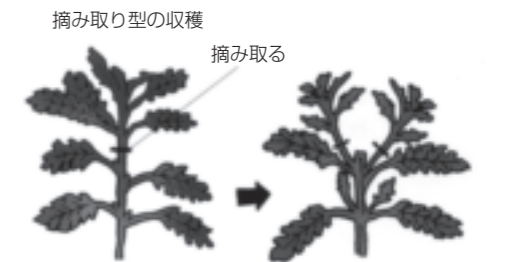
収穫

株張り型(抜き取り収穫用)

- 本葉7~8枚、草丈15cm位になったら順次間引き収穫すると品質の良いものが得られる。
- 取り遅れないように注意する。

摘み取り型(摘み取り収穫用)

- 摘み取り位置を低くしすぎない方が長く収穫できる。
- 本葉10枚位になったら、下方の3~4枚を残して中心の茎を収穫する。



裏面はレタスを掲載しています。

農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。